

2018年3月2日

報道機関関係者 各位

8万8千羽の復興七夕折鶴が子どもたちのノートに再生！  
**学校・家庭・地域をつなぐノートを産学共同開発**

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さてこの度、**仙台市内の小中学生が復興を願って折った8万8千羽の七夕折鶴飾り**を、昨年初めて、鳴海屋紙商事(株)が再生紙にし、その紙を表紙にしたノートを、仙台市内の印刷会社(株)孔栄社が尚絅学院大学の松田道雄特任教授と共同開発し、3月11日から、仙台市内の文具店オフィスベンダーで販売開始します。三者は、**七夕飾りと循環するこのノートによって、大人と子どもたちに地元愛とつながりを一層育んでもらいたい**と願っています。また、このノートを通して、仙台から全国・世界に子どもたちの学習支援をしていきたいと考えています。

本ノートは小学校に入学した1年生から使用できるよう、2種類のマス目で製造し、ノートの形状は、黒板の形状で、学校の授業をそのまま再現復習できるようになっており、放課後の子ども教室や家庭で、地域や保護者が、そのまま子どもの学習支援できる使い方ができます。※詳細は添付資料参照

つきましては、以下の日時で**東六番丁小学校にノートを寄贈・説明をする機会**がございますので、報道関係者の方々におかれましても、ぜひ取材いただきたくご案内申し上げます。

<概要>

■日時：3月7日（水）10：00～11：30

■場所：東六番丁小学校

■児童に、開発したノートを、共同開発した企業・大学教員が寄贈し、使い方の説明をします。  
(学年・学級未定)



<本件に関する問い合わせ先>

所属：尚絅学院大学エクステンションセンター

氏名：松田道雄

TEL: 080-6017-7139

Email: m\_matsuda@shokei.ac.jp